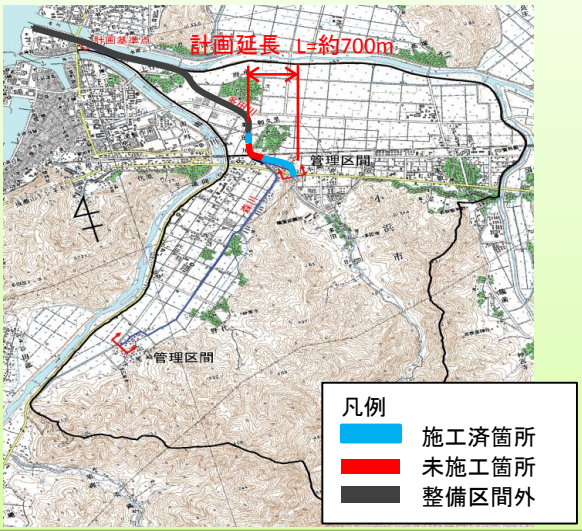
◆ 嶺南西部地域(多田川水系、北川水系、佐分利川水系) 河川整備の進捗点検

資　料　①

主な点検の対象（整備計画の記載事項）							点検の内容		
ＮＯ	項　目			内容	整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	点検方法	参考数値	点検票ページ
01	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施工より設置される河川管理施設の機能の概要	多田川水系	(1)多田川 辻堂橋付近～国道27号までの約0.7m区間	河道拡幅、河床掘削、護岸工、階段工	P7	P8～9	河川整備の進捗状況、現状の河川環境の復元、事業ｽｹｼﾞｭｰﾙなどの確認	整備進捗率(%) ＝ 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100	P1～P2ページ
02			(2)森川 多田川合流地点～野代川合流地点までの約0.9m区間	河道拡幅、河床掘削、護岸工、根固工	P7	P10	河川整備の進捗状況、河川環境の創出・回復、事業ｽｹｼﾞｭｰﾙなどの確認	整備進捗率(%) ＝ 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100	P3～P4ページ
03		北川水系	(1)北川 右岸：福井県三方上中郡若狭町熊川 左岸：福井県三方上中郡若狭町熊川	ダム建設	P16	P18～21	河川整備の進捗状況、事業スケジュール、整備時における自然環境への配慮事項の確認	ダム整備進捗率(%) ＝ 施工済量(m3) ÷ 計画量(m3) × 100 付替道路整備進捗率(%)＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100	P5～P8ページ
04			(2)江古川 北川合流地点0kから3.5k	（概ね１０年に１回程度発生する降雨による洪水に対する）家屋等の浸水対策	P16	P22	治水対策の検討状況などの確認		P9～P10ページ
05			(3)野木川 北川合流点0kから1.175k	築堤、河床掘削	P16	P23～25	河川整備の進捗状況、生物の生息・生育・繁殖環境の保全、事業ｽｹｼﾞｭｰﾙなどの確認	整備進捗率(%) ＝ 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100	P11～P12ページ
06		佐分利川水系	(1)大津呂川 右岸：福井県大飯郡大飯町本郷地先 左岸：福井県大飯郡大飯町本郷地先	生活貯水池建設	P9	P11～P13	河川整備の進捗状況、事業スケジュール、 整備時における自然環境への配慮事項の確認	ダム整備進捗率(%) ＝ 施工済量(m3) ÷ 計画量(m3) × 100	P13～P15ページ
07	4.2.2.1洪水等による災害発生の防止又は軽減に関する維持管理	多田川 北川 佐分利川 水系	(1)河川管理施設の維持管理	河川施設の巡視	－	多田川　：P11 北　川　：P26 佐分利川：P14	河川巡視の実施状況の確認		P16ページ
08			(2)河道の維持管理	堆積土砂の撤去、樹木群の伐採	－	多田川　：P11 北　川　：P26 佐分利川：P14	「堆積土砂の撤去」や「樹木群の伐採」状況の確認		P17～P18ページ
09			(3)防災機能の充実	浸水想定区域等の情報提供	－	北　川　：P26 佐分利川：P14,15	「浸水想定区域図」、「洪水ハザードマップ」などの作成状況の確認		P19～P21ページ
10	4.2.2.2河川の適正な利用及び流水の正常な機能の確保のための維持管理	多田川 北川 佐分利川 水系	(1)水量の管理	利水者との情報連絡体制の整備	－	多田川　：P11 北　川　：P27 佐分利川：P15	利水者との情報連絡体制の整備状況の確認		P22ページ
11		多田川 北川 佐分利川 水系	(2)水質の監視	水質の監視	－	多田川　：P11 北　川　：P27 佐分利川：P15	水質監視状況の確認	河川の水質 水質事故の発生件数	P23～P24ページ
12		多田川 北川 佐分利川 水系	(3)許可工作物の設置等への対応	適正な運営・管理の監督	－	北　川　：P27 佐分利川：P15	各河川の点検・修理等指導状況の確認		P25ページ
13	4.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理	多田川 北川 佐分利川 水系	(1)河川環境の保全	魚道の等の機能改善	－	多田川　：P11 北　川　：P27 佐分利川：P15	魚道の機能改善事例の確認		P26～P27ページ
14	4.3 その他河川の整備を総合的に行うために必要な事項	多田川 北川 佐分利川 水系		地域住民の協働	－	多田川　：P11 北　川　：P29 佐分利川：P16	住民との協働による「河川美化活動」の状況の確認	住民との協働による草刈りの実施等	P28ページ

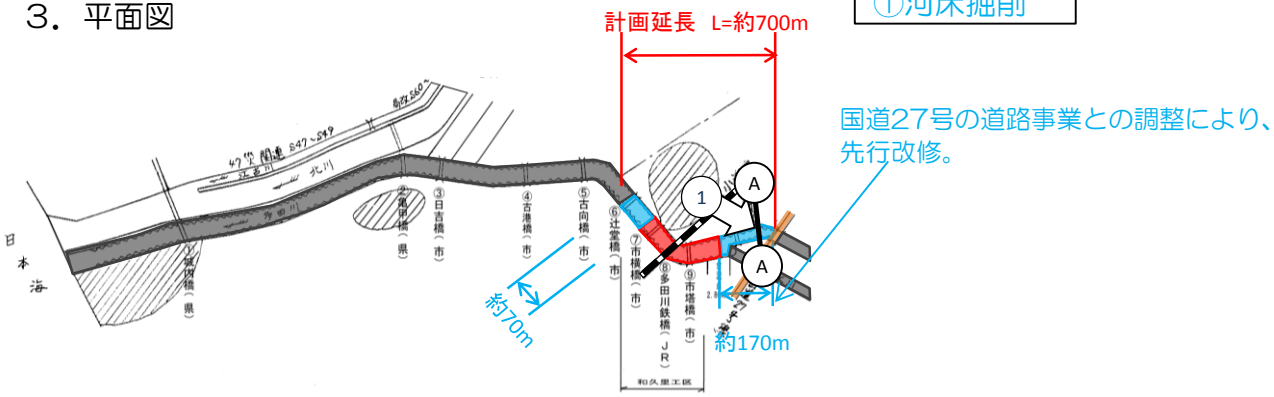
河川整備計画 進捗点検		No 01	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P7	P8～9	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 多田川			
	内　容	河道拡幅、河床掘削、護岸工、階段工			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、現状の河川環境の復元、事業ｽｹｼﾞｭｰﾙなどの確認			
参　考　数　値		整備進捗率(%) ＝ 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

1．位置図

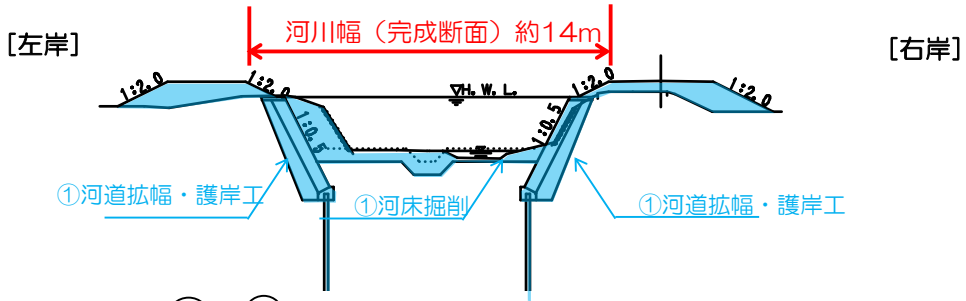


2．状況写真

3．平面図



4．横断図



Ⓐ－Ⓐ　横断図（国道27号下流付近）

河川整備計画 進捗点検		No 01	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P7	P8～9	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 多田川			
	内　容	河道拡幅、河床掘削、護岸工、階段工			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、現状の河川環境の復元、事業ｽｹｼﾞｭｰﾙなどの確認			
参　考　数　値		整備進捗率(%) ＝ 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

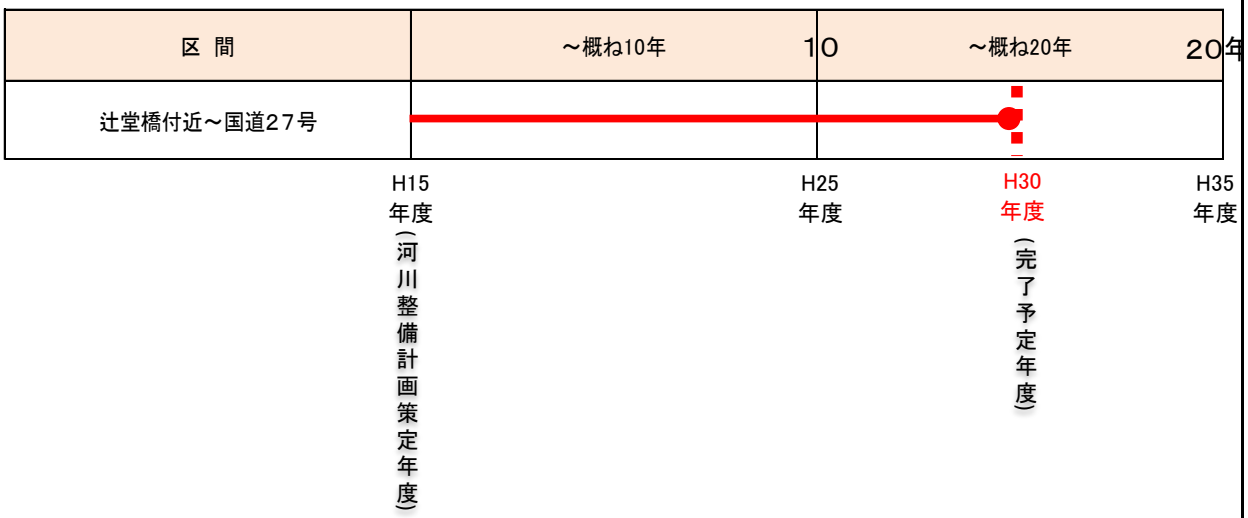
【 進捗状況 】
整備進捗率　　34%

5．河川工事の進捗状況

☆進捗状況
・240m（下流70m、上流170m）完了。

☆整備進捗率：
240(m)/700(m)×100=34(%)

6．工程表

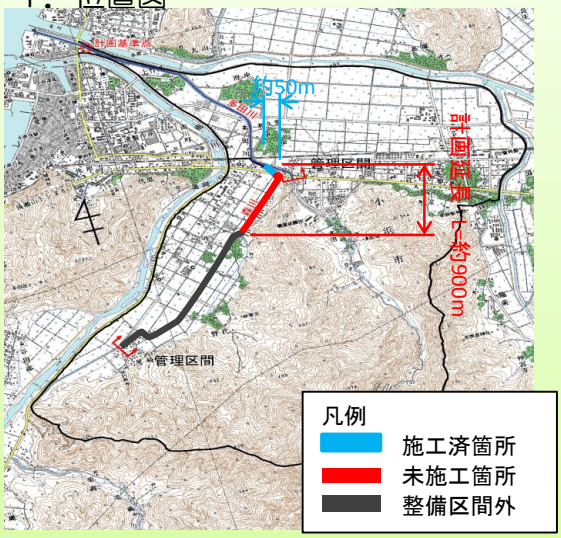


点検結果の考察

・上流区間を先行整備したことから、将来手戻り工事が生じることはない。
・今後、みお筋の復元、植生の回復などに配慮しながら、残区間の整備に努めていく。

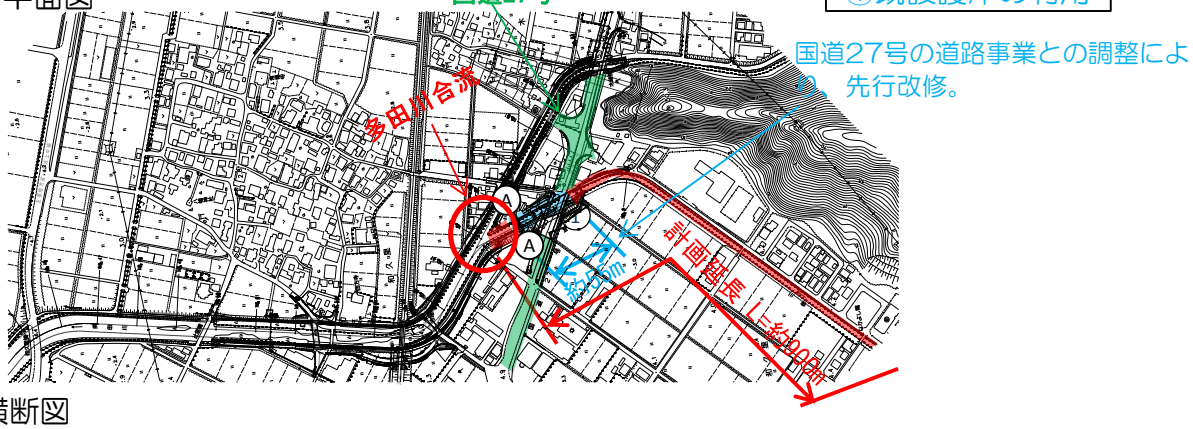
河川整備計画 進捗点検		No 02	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P7	P10	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2)森川			
	内　容	河道拡幅、河床掘削、護岸工、根固工			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、河川環境の創出・回復、事業ｽｹｼﾞｭｰﾙなどの確認			
参　考　数　値		整備進捗率(%) ＝ 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

1．位置図

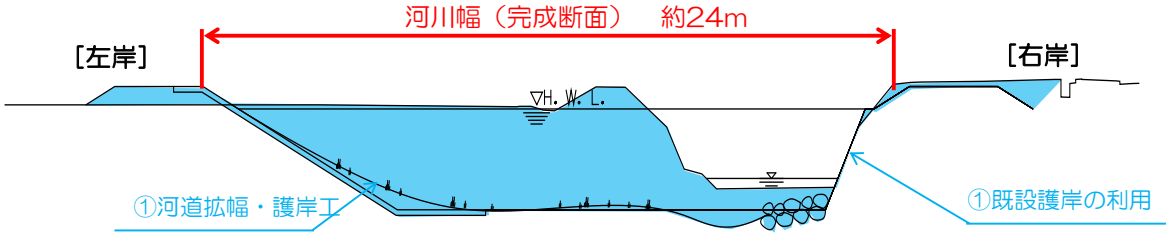


2．状況写真

3．平面図



4．横断図



河川整備計画 進捗点検		No 02	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P7	P10	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2)森川			
	内　容	河道拡幅、河床掘削、護岸工、根固工			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、河川環境の創出・回復、事業ｽｹｼﾞｭｰﾙなどの確認			
参　考　数　値		整備進捗率(%) ＝ 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

【 進捗状況 】	
整備進捗率	6%

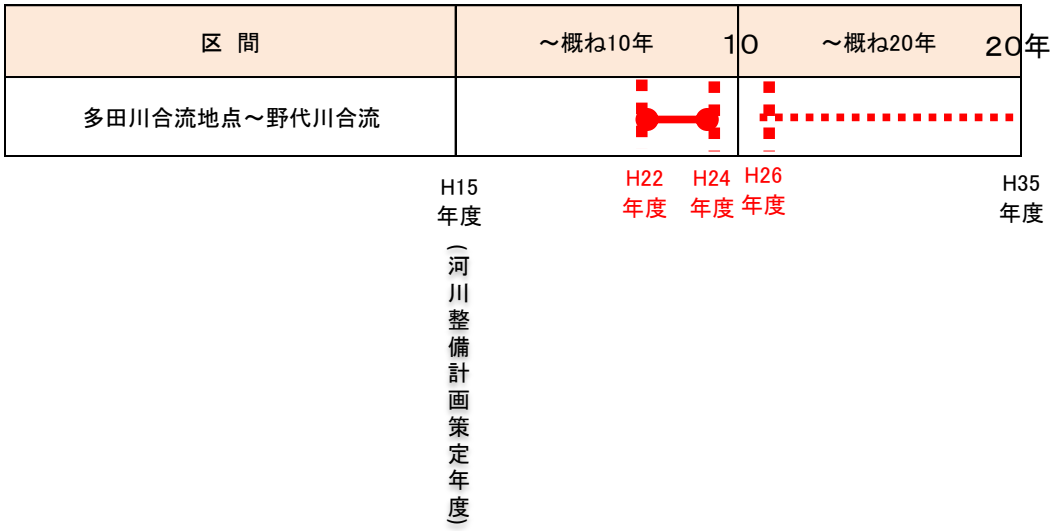
5．河川工事の進捗状況

☆進捗状況

・整備区間55m完了。

☆整備進捗率：55(m)/900(m)×100=6(%)

6．工程表



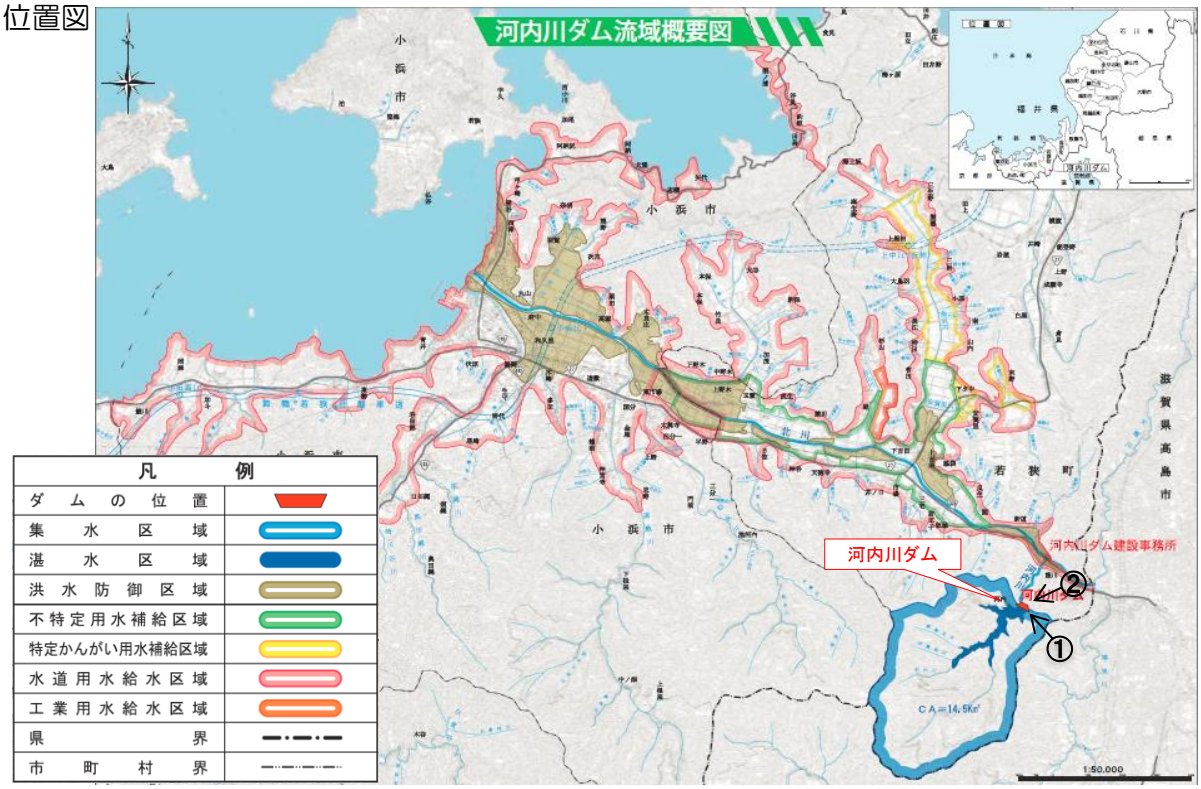
点検結果の考察

・一部先行整備したことから、将来手戻り工事が生じることはない。

・今後、下流の多田川の工事進捗を確認した上で、みお筋の創出などに配慮しながら、残区間の整備に努めていく。

河川整備計画 進捗点検		No 03	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P16	P18～21	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 北川			
	内　容	ダム建設			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、事業スケジュール、 整備時における自然環境への配慮事項の確認			
参　考　数　値		ダム整備進捗率(%) ＝ 施工済量(m3) ÷ 計画量(m3) × 100 付替道路整備進捗率(%)＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100			

1．位置図



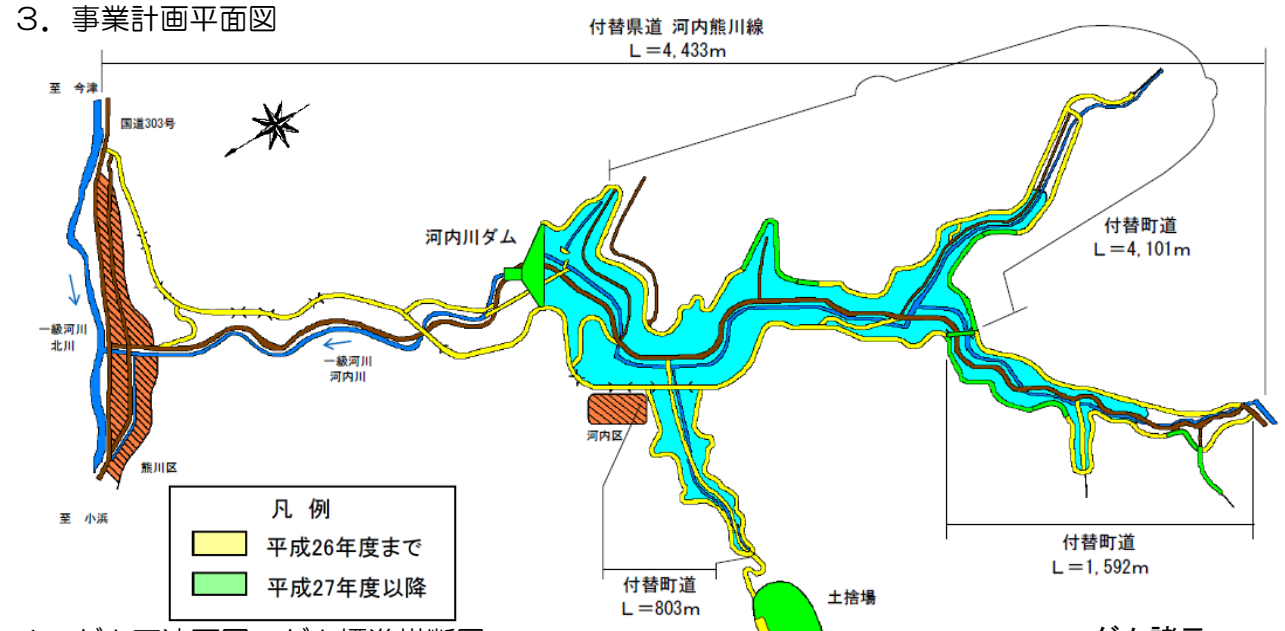
2．状況写真・イメージ図

①平成27年2月25日撮影

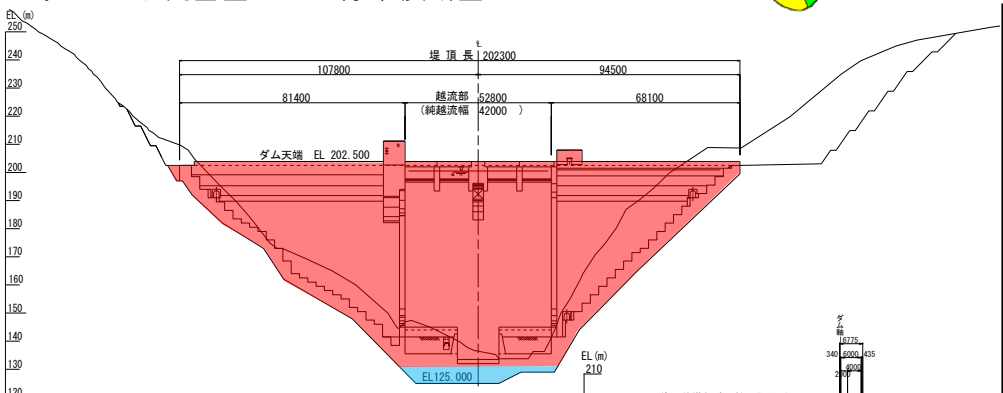
②河内川ダムのイメージ図

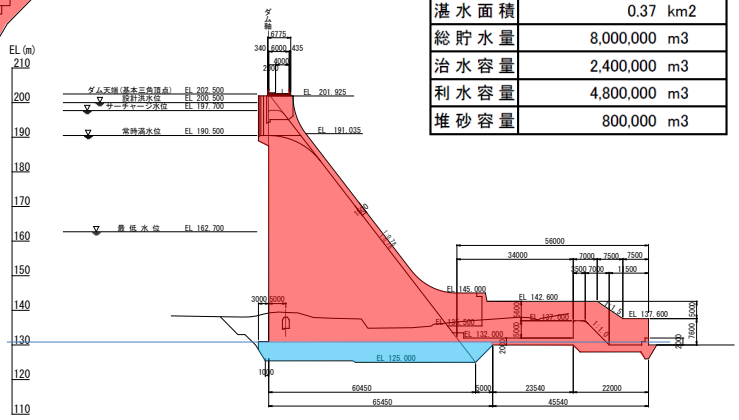
河川整備計画 進捗点検		No 03	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P16	P18～21	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 北川			
	内　容	ダム建設			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、事業スケジュール、 整備時における自然環境への配慮事項の確認			
参　考　数　値		ダム整備進捗率(%) ＝ 施工済量(m3) ÷ 計画量(m3) × 100 付替道路整備進捗率(%)＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100			

3．事業計画平面図



4．ダム下流面図・ダム標準横断図





ダム諸元

目　的	洪水調節 流水の正常な機能の維持 特定かんがい用水 水道用水 工業用水
計画規模	1/100
計画雨量	378 mm(日雨量)
型　式	重力式コンクリートダム
洪水調節方式	自然調節方式
堤　高	77.5 m
堤頂長	202.3 m
堤体積	257,200 m3
湛水面積	0.37 km2
総貯水量	8,000,000 m3
治水容量	2,400,000 m3
利水容量	4,800,000 m3
堆砂容量	800,000 m3

凡例
施工済箇所
未施工箇所

河川整備計画 進捗点検		No 03	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P16	P18～21	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 北川			
	内　容	ダム建設			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、事業スケジュール、 整備時における自然環境への配慮事項の確認			
参　考　数　値		ダム整備進捗率(%) ＝ 施工済量(m3) ÷ 計画量(m3) × 100 付替道路整備進捗率(%)＝施工済延長(m)÷計画延長(m)×100			

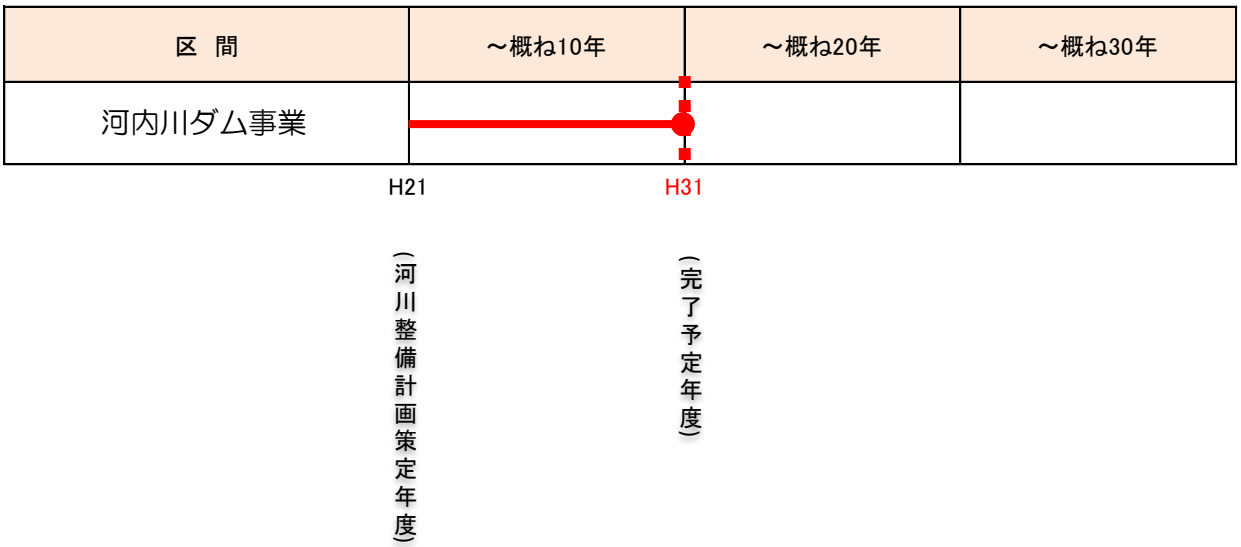
【 進捗状況 】	
ダム整備進捗率	７%
付替道路整備進捗率	７８%

5．河川工事の進捗率

☆ダム整備進捗率：
・17,531(m3)/257,200(m3)＝6.8%

☆付替道路整備進捗率
・8.559(ｋｍ)÷10.929(ｋｍ)＝78.3%

6．工程表



河川整備計画 進捗点検		No 03	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P16	P18～21	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 北川			
	内　容	ダム建設			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、事業スケジュール、 整備時における自然環境への配慮事項の確認			

7．整備時における自然環境への配慮事項

項目	内容
調査・予測・評価	ダム事業による環境への影響については、環境影響評価法に則して実施しており、「動植物」、「生態系」、「大気環境・水環境」、「景観・その他」に分類される環境項目において、調査・予測・評価を行った。
環境保全措置	上記の評価を踏まえ、環境項目ごとに環境保全のための措置を検討した。
環境保全措置の実施	上記において、環境保全措置が必要とされた環境項目について、環境保全措置（工事中のモニタリング調査等）を実施している。

動物（希少猛禽類）

ダム事業に近接した箇所（ダム本体工事箇所および付替道路工事箇所）にてクマタカの営巣木を確認しており、工事の実施に伴うクマタカへの影響を把握するため、通年観測に加え、繁殖活動時には観測を追加し、クマタカの行動内容を調査している。

ダム本体工事が開始された後も、成長および幼鳥は継続して確認され、繁殖は順調に推移していることから、工事の実施に伴うクマタカへの影響はなかったと判断している。

河内北ペアCCDカメラ（H25.6.5画像）

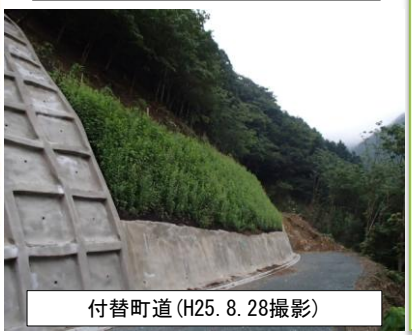
植物（希少植物）

事業地および周辺区域での生育地や個体数が少なく、ダム湛水により大部分が水没する希少植物を対象にダム湛水域外への移植および移植後のモニタリング調査を実施している。

ダム湛水域内に生息している希少植物のサンショウソウを対象に、平成25年10月に56個体、平成26年11月に100個体の移植を実施し、平成26年12月のモニタリング調査にて全個体の生存と、良好な定着状況であることを確認している。

H25年に移植したサンショウソウ
（H26.12.12撮影）

水環境（水質）



付替町道（H25.8.28撮影）

ダム本体工事範囲から発生する濁水は、水素イオン濃度（pH）、浮遊物質量（SS）を常時計測しながら県の環境基準値（pH6.5～8.5、SS25mg/L以下）内となるまで全量を処理して下流河川へ排水している。

また、付替道路の切土法面において、在来種（ヨモギ等）による法面緑化を実施し、河川への土砂流出の防止に努めている。

【 点検結果の考察 】

・クマタカやサンショウソウ等の重要種をはじめとする多種多様な動植物の生息・生育環境の保全に配慮し、施工時における濁水の発生を防止・抑制のための濁水処理や改変区域への緑化等に努めながら、平成31年度のダム事業の完成に向けて、計画どおり事業を進捗している。

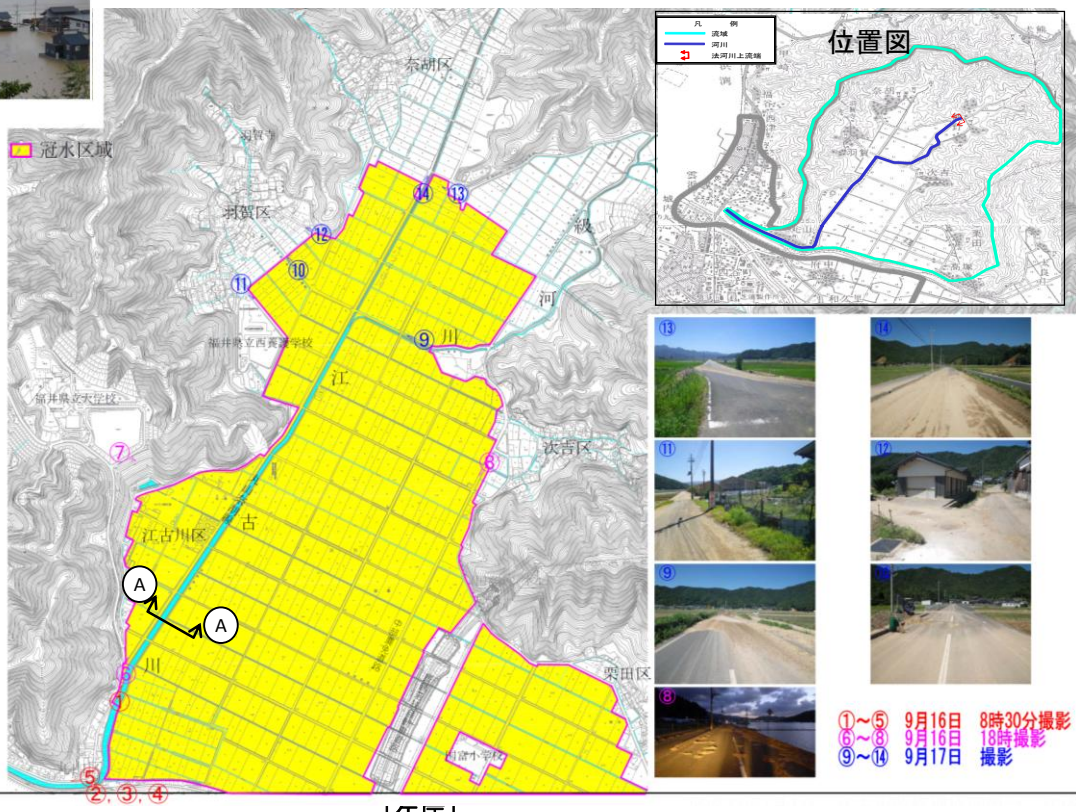
河川整備計画 進捗点検	No 04	整備計画本文との対応（ページ）		
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
		P16	P22	

記載事項		
	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 江古川
	内　容	（概ね１０年に１回程度発生する降雨による洪水に対する）家屋等の浸水対策
点　検　方　法		治水対策の検討状況などの確認

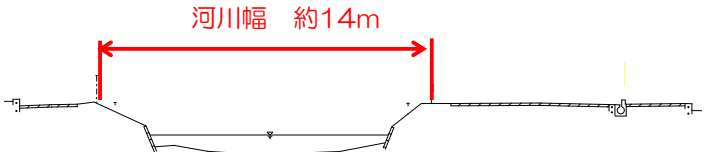
河川および流域の概要
- 北川の約0.5k右岸に合流する支川（流域面積8.3km2、法河川延長4.6km）
- 流域の大半は昔から農地として利用
- 北川の霞堤としての機能を有し、北川の治水対策のひとつとしての役割を担う
- 近年、農地の宅地化が進行し、この10年で3回、家屋の浸水被害が発生（北川の背水に起因）

小浜市国富、集落孤立

H25.9台風18号時の江古川流域での浸水実績



［左岸］　横断図　［右岸］



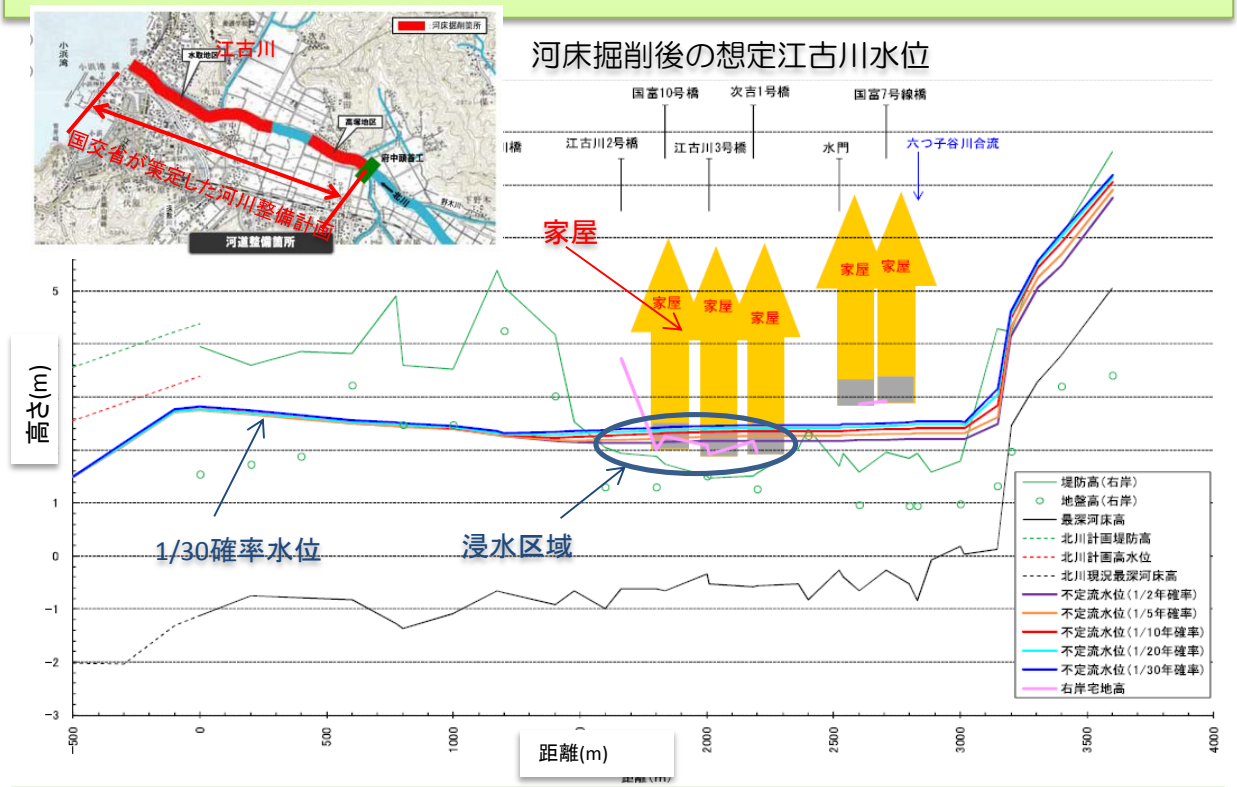
Ⓐ－Ⓐ　横断図（北川合流点より2.2km付近）

近年における江古川流域での浸水被害

発生年月日	降雨原因	浸水戸数			
		住家		非住家	
		床上	床下	床上	床下
H16.10.20	台風23号	3	20	0	0
H23.5.30	台風2号	1	20	0	0
H25.9.16	台風18号	29	11	3	10

河川整備計画 進捗点検		No 04	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P16	P22	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 江古川			
	内　容	（概ね１０年に１回程度発生する降雨による洪水に対する）家屋等の浸水対策			
点　検　方　法		治水対策の検討状況などの確認			

北川の改修計画およびその効果
・北川では国交省が、下流から河床掘削を実施している。
・北川の水位低下のため、河内川ダムも建設中。
・工事完了後は、北川の江古川合流点水位が低下することから、江古川沿川の浸水は被害においても軽減されることが想定される。



治水対策の検討状況
・これまでに、市道の嵩上げや輪中堤など複数の対策案を説明し、地元から様々な要望や意見をいただいている。
・現在、各案の特徴、長所、短所、費用対効果など検討中であり、今後、具体的な対策案を提示していく予定。
・速やかな計画策定のためには、地元の合意形成が必要不可欠である。

点検結果の考察

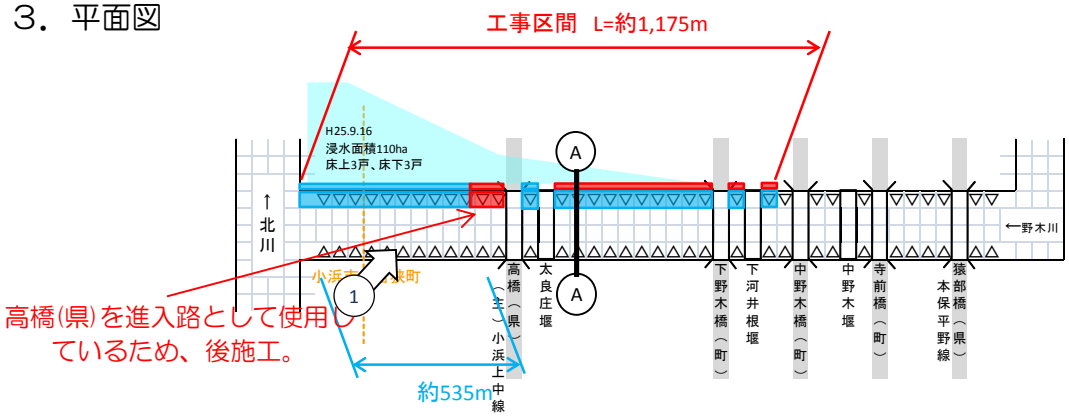
・江古川の治水対策について地元調整を進めている。
・今後、治水対策案について、地元から理解が得た後、嶺南地域流域検討会に当て、整備計画を変更する。

河川整備計画 進捗点検		No 05	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P16	P23～25	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (3) 野木川			
	内　容	築堤、河床掘削			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、生物の生息・生育・繁殖環境の保全、事業ｽｹｼﾞｭｰﾙなどの確認			
参　考　数　値		整備進捗率(%) ＝ 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

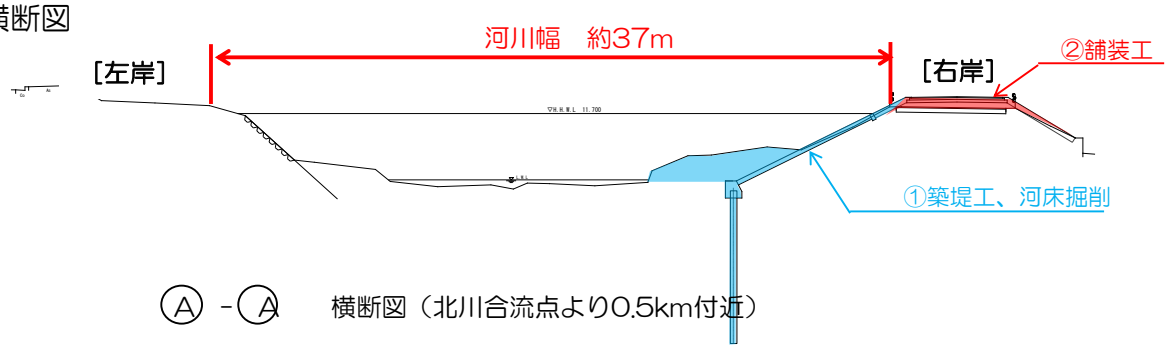
1．位置図

2．状況写真

3．平面図



4．横断図



Ⓐ－Ⓐ　横断図（北川合流点より0.5km付近）

河川整備計画 進捗点検		No 05	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P16	P23～25	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (3) 野木川			
	内　容	築堤、河床掘削			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、生物の生息・生育・繁殖環境の保全、事業ｽｹｼﾞｭｰﾙなどの確認			
参　考　数　値		整備進捗率(%) ＝ 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

【 進捗状況 】

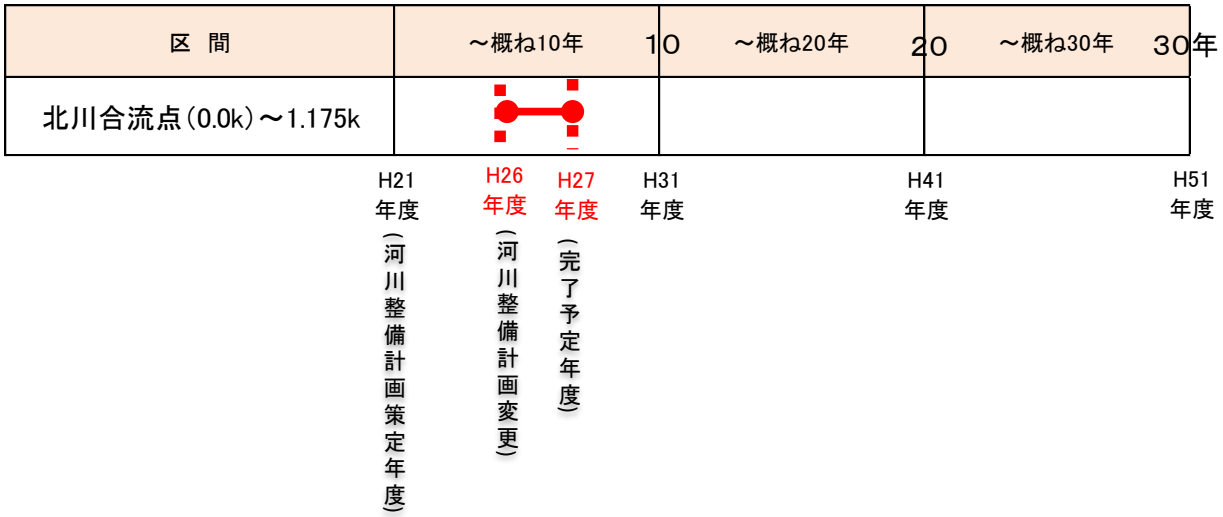
整備進捗率　45%

5．河川工事の進捗状況

☆進捗状況
・535m完了。
・H27年の5月末に、完了予定。

☆整備進捗率：535(m)/1,175(m)×100=45(%)

6．工程表

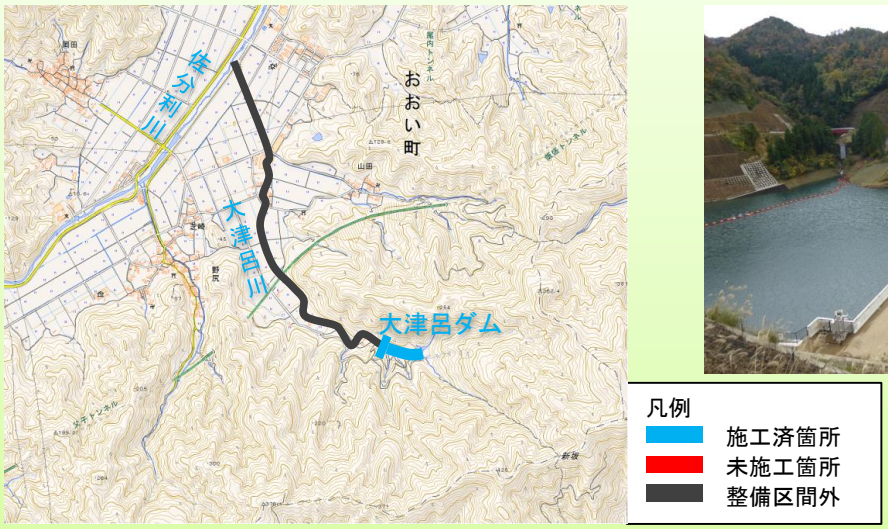


点検結果の考察

・作業ヤードが狭い中、短期間で整備を進めている。
・今後、みお筋の形成など環境保全の整備を進める。

河川整備計画 進捗点検		No 06	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P9	P11～13	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 大津呂川			
	内　容	生活貯水池建設			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、事業スケジュール、 整備時における自然環境への配慮事項の確認			
参　考　数　値		整備進捗率(%) ＝ 施工済量(m3) ÷ 計画量(m3) × 100			

1．位置図



2．状況写真

3．平面図

目　　的	洪水調節 流水の正常な機能の維持 水道用水
計画規模	1/30
計画雨量	256mm（日雨量）
型　　式	重力式コンクリートダム
洪水調節方式	自然調節方式
堤　　高	40.6 m
堤頂長	158.5 m
堤体積	73,000 m^3
湛水面積	0.03 km^2
総貯水量	485,000 m^3
治水容量	170,000 m^3
利水容量	260,000 m^3
堆砂容量	55,000 m^3

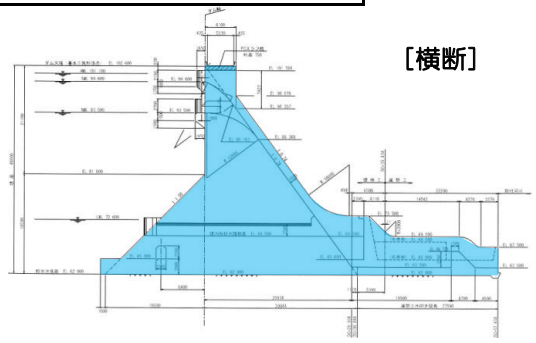
河川整備計画 進捗点検		No 06	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P9	P11～13	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 大津呂川			
	内　容	生活貯水池建設			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、事業スケジュール、 整備時における自然環境への配慮事項の確認			
参　考　数　値		整備進捗率(%) ＝ 施工済量(m3) ÷ 計画量(m3) × 100			

【 進捗状況 】

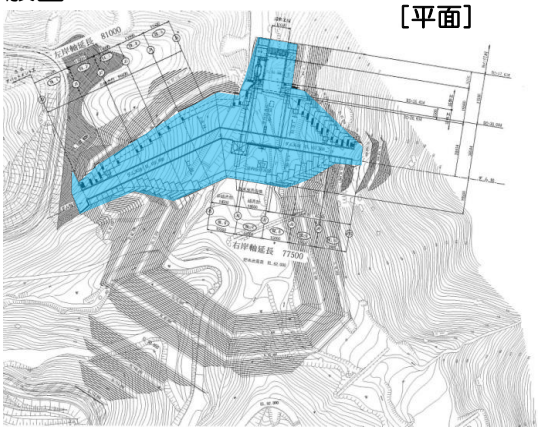
整備進捗率　100％

4. 堤体一般図

［横断］



［平面］



5. 河川工事の進捗状況

☆整備進捗率：73,000(m3)/73,000(m3)=100(%)

☆進捗状況
・平成23年2月に本体コンクリートの打設を完了した。
・平成24年1月から試験湛水を開始し、平成24年4月に試験湛水が終了した。
・平成24年5月から供用を開始した。

6. 工程表

区　間	～概ね10年	～概ね20年
大津呂ダム		

H18年度（河川整備計画策）　H24年度（完了年度）　H28年度　H38年度

河川整備計画 進捗点検		No 06	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			P9	P11～13	
記載事項	項　目	4.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 大津呂川			
	内　容	生活貯水池建設			
点　検　方　法		河川整備の進捗状況、事業スケジュール、 整備時における自然環境への配慮事項の報告			

7．工事の実施に伴う環境保全措置の状況

項目	内容
調査・予測・評価	ダム事業による環境への影響については、環境影響評価法に則して実施しており、「動植物」、「生態系」、「大気環境・水環境」、「景観・その他」に分類される環境項目において、調査・予測・評価を行った。
環境保全措置	上記の評価を踏まえ、環境項目ごとに環境保全のための措置を検討した。
環境保全措置の実施	上記において、環境保全措置が必要とされた環境項目について、環境保全措置（工事中のモニタリング調査等）を実施している。

動物（希少猛禽類）

事業地周辺区域を含む現地調査において、希少猛禽類10種が確認された。このうち、工事の実施に伴い採食地や繁殖地となり得る森林の一部が改変されるハイタカ、サシバ、クマタカについては、繁殖期を中心とした工事中のモニタリング調査を実施した。

工事中のモニタリング調査では、これら猛禽類の異常行動（警戒声、警戒態勢、工事個所の注視、急に飛び出すなど通常の生活サイクルの中では見られない行動）は確認されず、繁殖は順調に推移したことから、工事の実施に伴う影響はなかったと判断している。

動物（魚類）

現地調査でナガレホトケドジョウ、カジカ、トウヨシノボリの重要種3種が確認された。このうち生息域の一部が事業区域に入るナガレホトケドジョウ、カジカについては、移植および移植後のモニタリングを実施した。

平成19年10月にナガレホトケドジョウ44個体、カジカ246個体を捕獲し、ダムの上流へ放流した。平成19月末～12月上旬に実施した移植後のモニタリングでは、ナガレホトケドジョウ6個体、カジカ81個体の生息を確認した。

水環境（水質）

ダム本体工事範囲から発生する濁水は、水素イオン濃度（pH）、浮遊物質量（SS）を常時計測しながら、近傍の北川水系で設定されている県の環境基準値（pH6.5～8.5、SS25mg/L以下）内となるまで全量を処理して下流河川へ排水した。

その他（CO2）

ICT（情報通信技術）を利用して、工事現場における消費電力量から工事車両の運転状況に至るまで、広範囲な施工現場におけるエネルギーの使用状況を事務所内で一括管理するシステムを導入。各設備で消費される電力量やCO2の削減状況、工事車両の運転状況などがリアルタイムに表示され、各設備の待機電力等のムダ・ムラが定量的に把握できることで、システム導入から堤体打設完了までの6ヶ月間で、計122tのCO2削減効果があった。

点検結果の考察

・整備実施区域およびその周辺区域を対象に環境調査、環境への影響予測や評価を行い、極力環境への影響が小さくなるように配慮しながら、また、やむを得ず影響が生じる場合は、環境保全措置を講じることで環境への影響の回避・低減に努めながら、計画どおり平成24年度にダムが完成した。

河川整備計画 進捗点検		No 07	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			－	－	
記載事項	項　目	4.2.2.1洪水等による災害発生の防止又は軽減に関する維持管理 (1)河川管理施設の維持管理			
	内　容	河川施設の巡視			
点　検　方　法		河川巡視の実施状況の確認			

河川施設の巡視
・「河川管理施設の保全状況」や「河川区域での違法行為」などについて把握するため、河川区域（１４河川、総延長約92.2km）を対象に「福井県河川パトロール実施要領」に基づき、河川巡視を実施している。
・重要水防区域（多田川、江古川、野木川）と水防警報河川（遠敷川、佐分利川）では出水期前に１回、出水期期間中は月１回以上、その他の区域では年１回以上を実施頻度としている。
・パトロールの方法は、基本的にパトロール車で管理用通路を走行し車窓から目視で河川状況を確認していくとともに、異常を発見した場合は降車し現地詳細を調査している。巡視した結果については日誌に記録し、必要に応じて応急的な補修を実施するとともに、抜本的な改善の方法について検討している。

河川巡視の実施状況

水系	河川巡視の対象区域	実施頻度	応急的な補修
多田川水系	県管理河川：２河川 総延長：約5.1km	・重要水防区域（多田川） 出水期前に１回、出水期間中は月１回以上　※平成26年度は、4,5月に1回づつ実施している。 ・その他の区域 年1回以上	近年応急的な補修は無し
北川水系	県管理河川：１０河川 総延長：約71.0km	・重要水防区域（江古川、野木川）、水防警報河川（遠敷川） 出水期前に１回、出水期間中は月１回以上　※平成26年度は、4,5月に1回づつ実施している。 ・その他の区域 年1回以上	近年応急的な補修は無し
佐分利川水系	県管理河川：2河川 総延長：約16.1km	・水防警報河川（佐分利川） 出水期前に1回、出水期間中は月1回以上　※平成26年度は、5,6月に1回づつ実施している。 ・その他の区域 年1回以上	近年応急的な補修は無し

【点検結果の考察 】

・近年応急的な補修実績はない。
・パトロールを継続していることで、河川管理施設が良好な状態に保たれている。
・今後も断続的に河川巡視を行っていくことで、適切な河川維持管理に努める。

河川整備計画 進捗点検		No 08	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			－	－	
記載事項	項　目	4.2.2.1洪水等による災害発生の防止又は軽減に関する維持管理 (2)河道の維持管理			
	内　容	堆積土砂の撤去、樹木群の伐採			
点　検　方　法		「堆積土砂の撤去」や「樹木群の伐採」状況の確認			

1　堆積土砂の撤去

・河川巡視で河道内の土砂の堆積状況を調査し、河積阻害の程度を確認した上で、洪水時に予想される被害の程度などを勘案し、必要に応じて浚渫を実施している。

・H２５年度は、江古川や多田川の2河川で合計1,190㎥の土砂を撤去した。

嶺南西部整備計画河川における浚渫実績（㎥）

	H23	H24	H25
多田川水系	3,370	1,280	440
北川水系	240	100	750
佐分利川水系	0	350	0
合計	3,610	1,730	1,190

着工前(北川水系　松永川)

完成後(北川水系　松永川)

【点検結果の考察 】

・浚渫を実施した箇所においては、流下阻害が軽減されている。

・浚渫土の一部は、公募して、民間で利用されている。

・浚渫土の処分費用を軽減するため、浚渫土砂の有効活用を検討するなど、コスト縮減に努める必要がある。

・今後も河川の適切な維持管理に努める。

河川整備計画 進捗点検		No 08	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			－	－	
記載事項	項　目	4.2.2.1洪水等による災害発生の防止又は軽減に関する維持管理 (2)河道の維持管理			
	内　容	堆積土砂の撤去、樹木群の伐採			
点　検　方　法		「堆積土砂の撤去」や「樹木群の伐採」状況の確認			

２　樹木群の伐採

・河川巡視で河道内の樹木繁茂状況を調査し、河積阻害の程度を確認した上で、土地利用状況、洪水時に予想される被害の程度などを勘案し、必要に応じて樹木群の伐採を実施している。

・H２３年度は遠敷川で6t、H25年度は江古川で6tの樹木群を伐採した。

嶺南西部地区内河川における伐採実績（t）

	H23	H24	H25
多田川水系	0	0	0
北川水系	6	0	6
佐分利川水系	0	0	0
合計	6	0	6

着工前(北川水系　江古川)

完成後(北川水系　江古川)

【点検結果の考察 】

・伐木を実施した箇所においては、流下阻害が軽減されている。

・伐採木の処分費用を軽減するため、伐木の有効活用を検討するなど、コスト縮減に努める必要がある。

・今後も河川の適切な維持管理に努める。

河川整備計画 進捗点検		No 09	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			－	－	
記載事項	項　目	4.2.2.1洪水等による災害発生の防止又は軽減に関する維持管理 (3)防災機能の充実			
	内　容	浸水想定区域等の情報提供			
点　検　方　法		「浸水想定区域図」、「洪水ハザードマップ」などの作成状況の確認			

1　浸水想定区域図

・水位情報周知河川2河川（北川水系遠敷川、佐分利川水系佐分利川）について、浸水想定区域図を作成済である。
（インターネットに公表済）

2　洪水ハザードマップ

・浸水想定区域に基づいて市町が洪水ハザードマップを作成しており、住民に配布している。
（インターネットに公表済）

3　浸水実績マップ

・住民や市町に地域の水害リスクを広く知ってもらうため、県内全ての1級・2級河川を対象に過去20年間（H5～H24）の浸水実績エリアをマップにした。（H24作成）
・作成した浸水実績マップを含め、各種防災情報を統合整理した水害ハザード情報を平

浸水想定区域図の作成状況

河川名	公表年月日	関係市町	備考
遠敷川	H18.9.8	小浜市	水位情報周知河川
佐分利川	H19.1.30	おおい町	水位情報周知河川

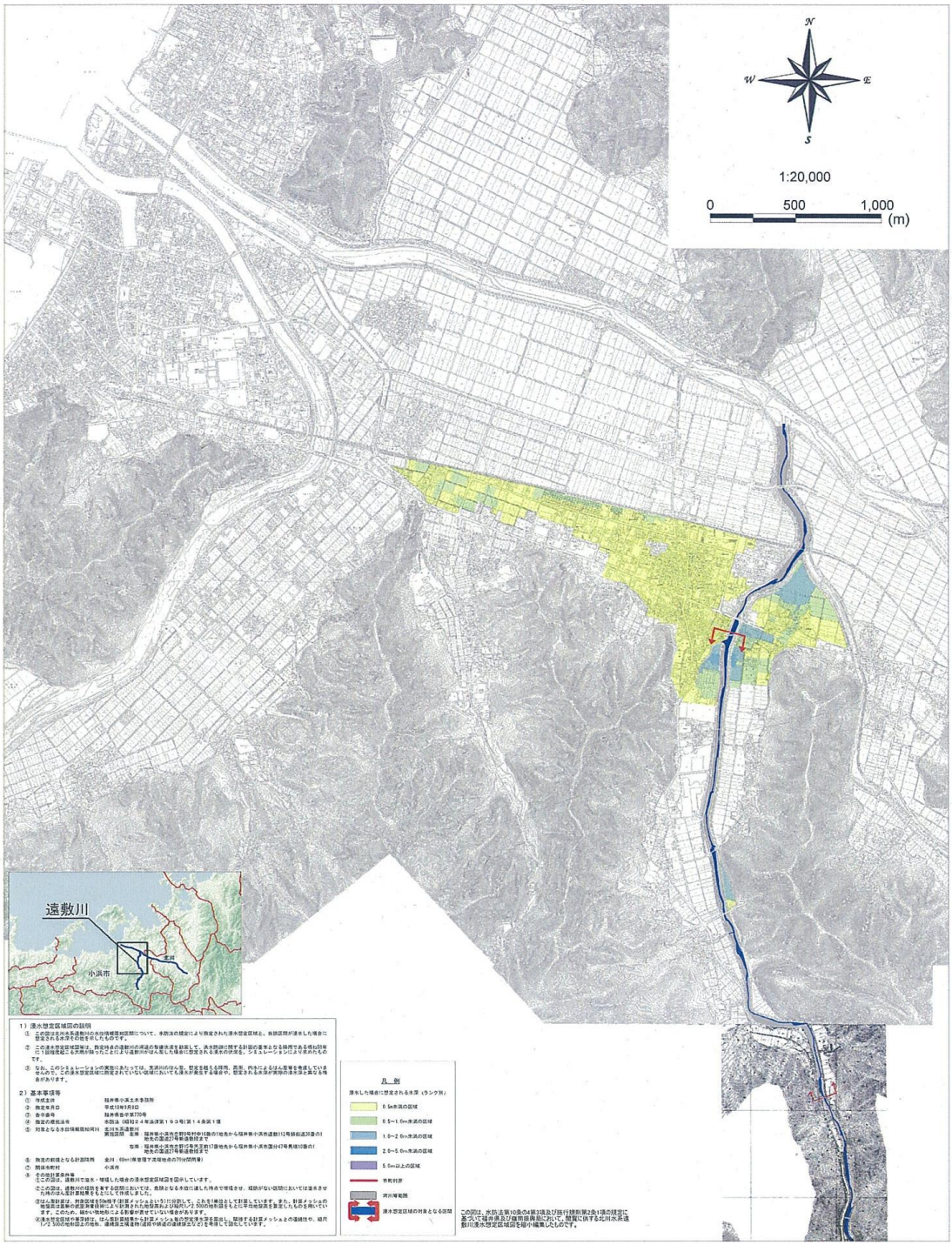
洪水ハザードマップの作成状況

作成市町	公表年月日	対象河川
小浜市	H21.8	北川、遠敷川
おおい町	H25.1	佐分利川

【点検結果の考察 】

・インターネットなどを活用し、水害リスクに関する情報の提供ができている。
・引き続き、情報提供及び周知に努める。

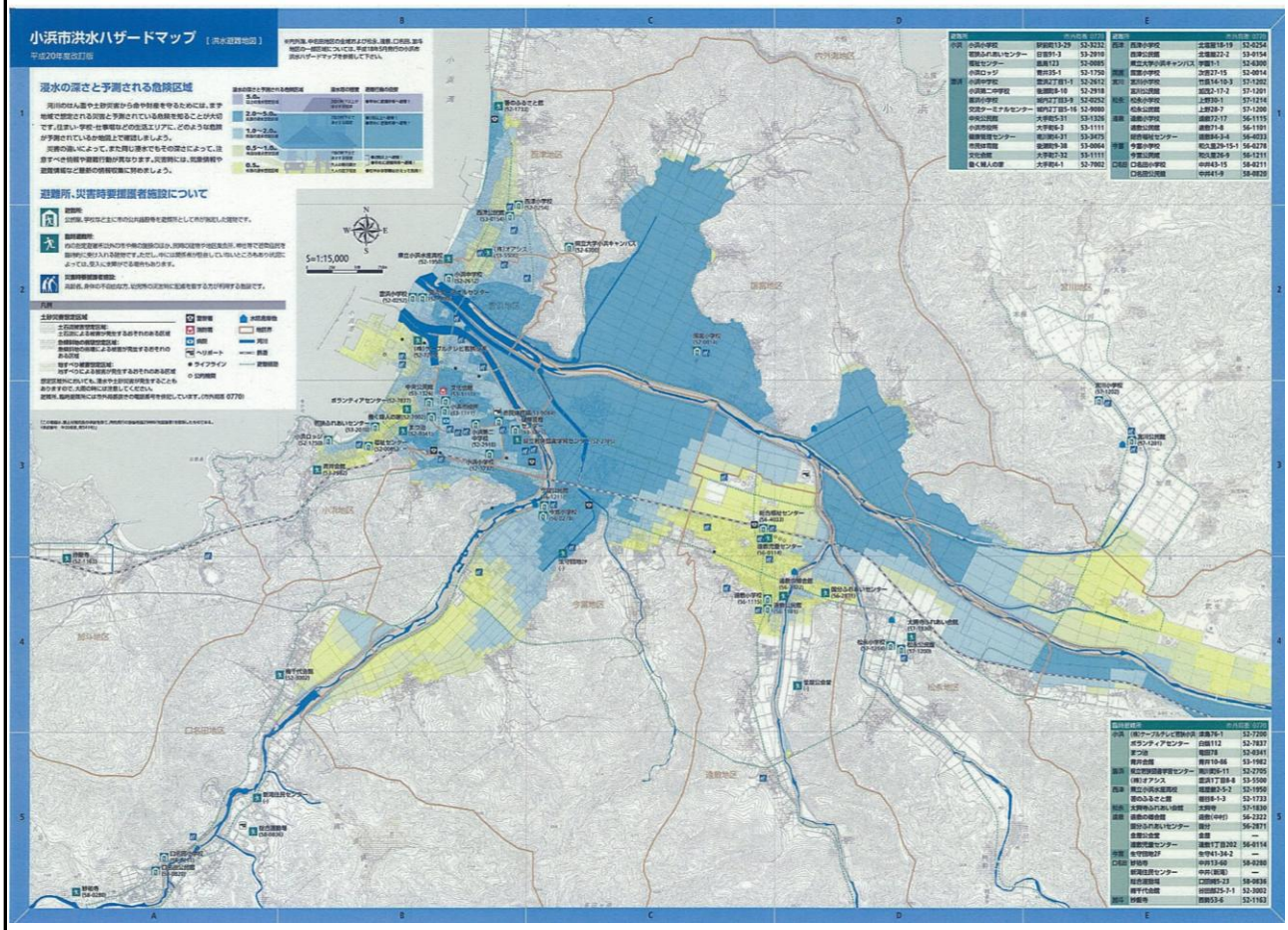
河川整備計画 進捗点検		No 09	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			－	－	
記載事項	項　目	4.2.2.1洪水等による災害発生の防止又は軽減に関する維持管理 (3)防災機能の充実			
	内　容	浸水想定区域等の情報提供			
点　検　方　法		「浸水想定区域図」、「洪水ハザードマップ」などの作成状況の確認			
【　備　考　】		浸水想定区域図（遠敷川）			



河川整備計画 進捗点検		No 09	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			－	－	
記載事項	項　目	4.2.2.1洪水等による災害発生の防止又は軽減に関する維持管理 (3)防災機能の充実			
	内　容	浸水想定区域等の情報提供			
点　検　方　法		「浸水想定区域図」、「洪水ハザードマップ」などの作成状況の確認			

【　備　考　】

洪水ハザードマップ（小浜市）



河川整備計画 進捗点検	No 10	整備計画本文との対応（ページ）		
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
		－	－	

記載事項		
項　目		4.2.2.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する維持管理 (1)水量の管理
内　容		利水者との情報連絡体制の整備
点　検　方　法		利水者との情報連絡体制の整備状況の確認

1.北川水系
　北川水系の水利用に関する情報の共有を目的に、北川水系水利用情報交換会を平成12年3月に発足した。

北川水系水利用情報交換会

機関名		摘要
福井河川国道事務所	河川占用調整課	河川管理者
〃	河川管理第一課	〃
〃	調査第一課	〃
福井県	河川課	〃
〃	農村振興課	利水者
〃	嶺南振興局農村整備部計画課	〃
若狭町	(上)水道課、(エ)(農)建設課	〃
小浜市	(上)上水道課、(農)農林水産課	〃
関西電力	(発)京都支社	〃
瓜生土地改良区	(農)瓜生土地改良区	〃
三宅土地改良区連合	(農)三宅土地改良区	〃
上中土地改良区	(農)上中土地改良区	〃
小浜国富土地改良区	(農)小浜国富土地改良区	〃
小浜府中土地改良区	(農)小浜府中土地改良区	〃
小浜平野土地改良区	(農)小浜平野土地改良区	〃

協議内容

開催年度	協議内容
平成12年度～平成26年度	利水者の水利用の状況。
	気象状況と河川水位。
	河内川ダム事業の実施状況。(H25～)

2.佐分利川水系（大津呂ダム）
　既設用水の安定化、流水の正常な機能の維持等を図ることを目的に、大津呂ダム連絡会を平成24年7月に発足した。

大津呂ダム連絡会

機関名		摘要
福井県土木部	砂防防災課	防災･ダム管理
〃	河川課	河川管理
〃	小浜土木事務所	〃
おおい町	総務課	防災
〃	生活環境課	利水者
小浜警察署	警備課	防災
若狭消防組合消防本部	警防課	〃
おおい町土地改良区	理事長	不特定利水
大津呂ダム管理事務所(事務局)	大津呂ダム管理事務所長	ダム管理

協議内容

開催年度	協議内容
平成24年度	維持流量及び流入量を考慮したダム放流量の提案。
平成25年度	ダムの放流量を絞るとともに、節水の呼びかけ。
平成26年度	貯水率の状況報告。

点検結果の考察

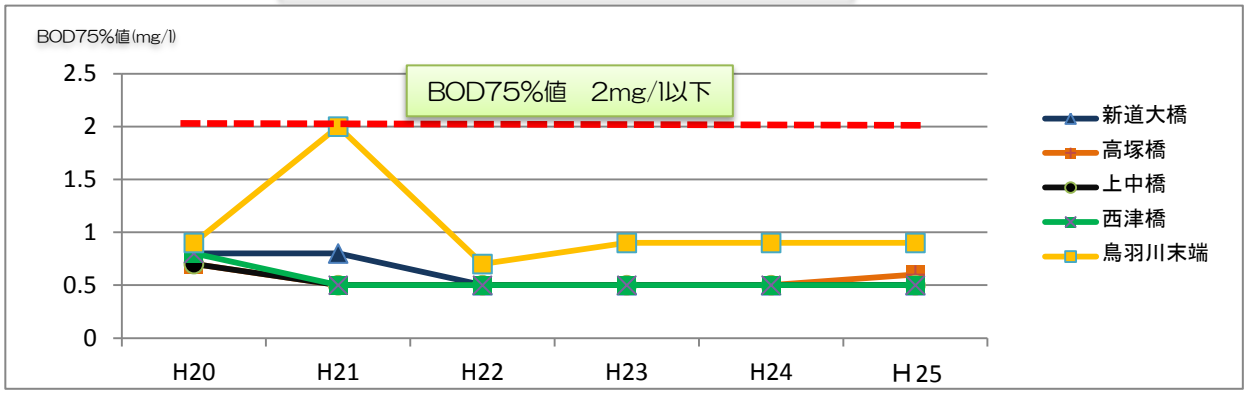
・北川水系、佐分利川水系（大津呂ダム）において、利水者との情報連絡体制が整備されており、水量管理のための情報共有が適切に行われている。
・今後も、利水者等との情報共有に努め、水量を管理する。

河川整備計画 進捗点検		No 11	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			-	-	
記載事項	項　目	4.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (1)水質の監視			
	内　容	水質の監視			
点　検　方　法		水質監視状況の確認			
参　考　数　値		・河川の水質 ・水質事故の発生件数			

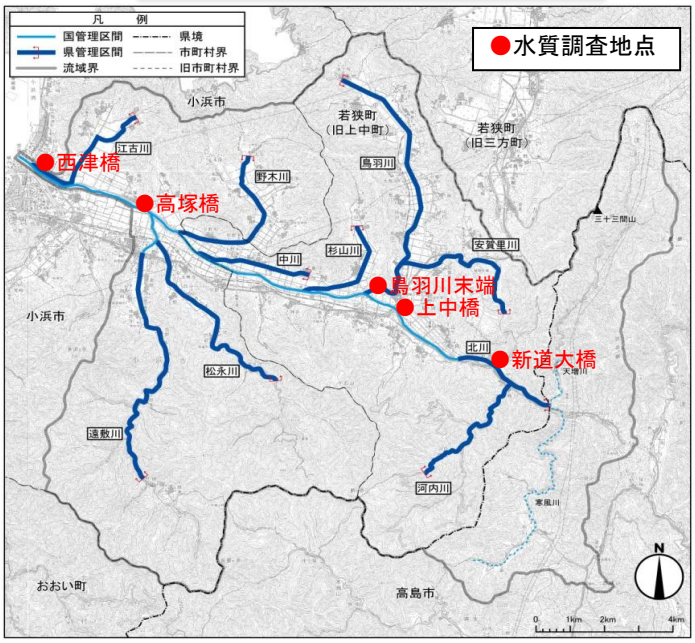
1 河川の水質

・北川水系：北川の全域が環境基準A型類に指定されている。河川水質（各地点のBOD75%値）は、鳥羽川末端で一時的にやや高い値を示したが、いずれの地点においても基準値を満足している。

北川の河川水質の経年変化（BOD７５%値）



北川の水質調査地点



河川整備計画 進捗点検		No 11	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			-	-	
記載事項	項　目	4.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (1)水質の監視			
	内　容	水質の監視			
点　検　方　法		水質監視状況の確認			
参　考　数　値		・河川の水質 ・水質事故の発生件数			

2 水質事故の発生件数
・水質事故は全て油の流出である。
・事故発生の際は、現地調査を実施し、原因者に被害防止措置を指示している。
・必要に応じてオイルマットを設置し被害拡大を防止しており、利水者や漁業関係者への注意喚起も行っている。

各水系における水質事故の発生件数

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
北川水系	3	0	0	1	0	2
佐分利川水系	0	0	0	0	0	1
多田川水系	1	0	1	0	0	0

H20：北川水系3箇所（鳥羽川、中川、杉山川）、多田川水系1箇所（多田川）
H22：多田川水系1箇所（森川）
H23：北川水系1箇所（安賀里川）
H25：北川水系2箇所（古川、北川）、佐分利川水系（佐分利川）

点検結果の考察

・北川水系の水質は、平成21年度を除き、基準値を大きく下回っており、良好な水質が維持されている。
・関係機関との連携により、引き続き水質汚染の被害拡大防止を図る。

河川整備計画 進捗点検		No 12	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			-	-	
記載事項	項　目	4.2.2.2 河川の適性な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項 (3)許可工作物の設置等への対応			
	内　容	適正な運営・管理の監督			
点　検　方　法		施設管理者の点検・修理等の指導状況の確認			

1　施設管理者に対する指導

・占用許可にあたっては、点検、維持および修繕を適正に行うよう指示している。

・河川巡視の際は、工作物の状況を目視で確認し、異常を発見した場合は現地調査の上、占用者に対して補修等の指示を行っている。

・占用者に対して補修指示をした案件について、占用者と改善方法について協議中である。

◆ 各河川の占用状況　H26.4.30まで

	多田川水系	佐分利川水系	北川水系
橋	5件	2件	75件
樋門樋管	1件	3件	8件
堰		6件	28件
埋設物			27件
その他	31件	25件	205件
合計	37件	36件	343件

◆ 補修を指示している事例（北川水系松永川）

魚道破損

堤体破損

点検結果の考察

・引き続き定期的な監視により大きな支障が生じている施設については、修理等指導していく。

河川整備計画 進捗点検		No 13	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			-	-	
記載事項	項　目	4.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (1)河川環境の保全			
	内　容	魚道等の機能改善			
点　検　方　法		魚道の機能改善事例の確認			

1　魚道機能改善事例

・多田川水系、佐分利川水系、北川水系においては、関係機関や管理者と連携して魚道の機能改善に取組んだ実績はない。本点検では、北川水系の遠敷川で魚道の機能改善をした事例がある。

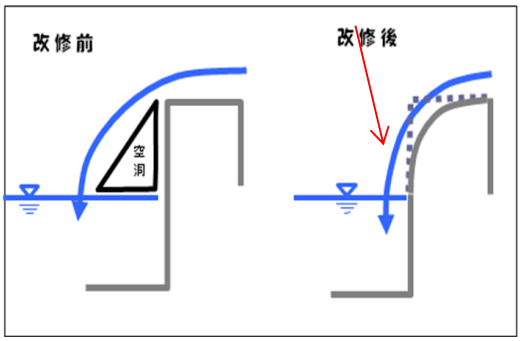
2　遠敷川の魚道改善の概要

・漁業組合から鮎が遡上しないということで、魚道改修要望。
・魚道の学識経験者に、改修方法について協議。
・学識経験者、漁業組合と合同で、魚道の機能改善方法の勉強会を開催。

（1）　魚道の問題点

①乱流の発生。（魚がジャンプし、鳥類に捕食される可能性が高い）
②渇水期の魚道の水位低下。（魚の遡上が不可能になる）

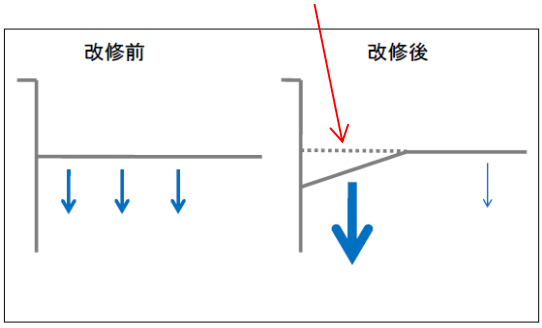
①乱流対策　　隔壁の角取り



（2）魚道の改修

①乱流の抑制
従来の隔壁が直角型であり、水が落ちる際に空洞が生じるため、角を取り、水がスムーズに流れ落ちるようにした。

②渇水対策　　魚道出口の切欠き



②水深の確保
魚道出口と隔壁端部を切欠いた。

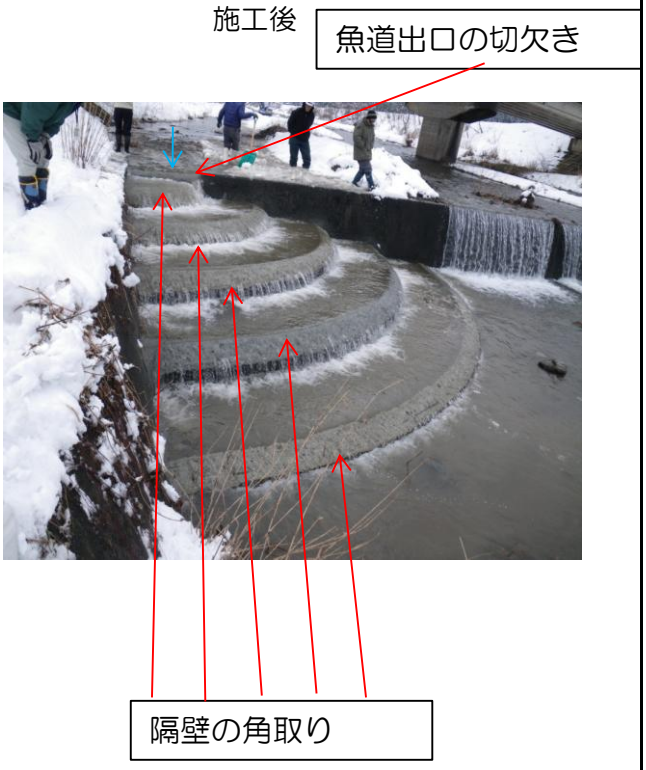
河川整備計画 進捗点検		No 13	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			-	-	
記載事項	項　目	4.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (1)河川環境の保全			
	内　容	魚道等の機能改善			
点　検　方　法		魚道の機能改善事例の確認			

（3） 対策結果

①乱流を低減することができた
②渇水時でも魚道内に水が流れる遡上経路を造成できた。

施工前

施工後



点検結果の考察

・補修事例を参考に今後も、関係機関及び管理者との連携して、魚道の機能改善に努めていく。

河川整備計画 進捗点検		No 14	整備計画本文との対応（ページ）		
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項	
			-	-	
記載事項	項　目	4.3 その他河川の整備を総合的に行うために必要な事項			
	内　容	地域住民の協働			
点　検　方　法		住民との協働による「河川美化活動」の 状況確認			
参　考　数　値		住民との協働による草刈りの実施等			

1　住民との協動による草刈り等の実施
・「地域をつなぐ河川環境づくり推進事業」により、河川の草刈りや植栽にかかる活動経費を河川愛護団体等に補助し、協働による河川維持管理を実施している。

地域をつなぐ河川環境づくり推進事業の実績

協働による草刈等の実施面積（㎡）				
	H22	H23	H24	H25
北川水系	263,400	263,400	263,400	255,400
佐分利川水系	90,000	90,000	90,000	90,000
多田川水系	16,200	16,200	16,200	16,200

草刈り（北川水系：江古川）

草刈り（北川水系：野木川）

【 点検結果の考察 】
・各水系において、地域住民との協働による河川美化活動が行われている。